



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月11日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 平成29年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-----|------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年2月期第1四半期 | 2,621 | 0.9 | 220 | 19.9 | 218 | 8.9 | 171 | 7.6 |
| 29年2月期第1四半期 | 2,645 | 43.7 | 274 | 836.9 | 240 | | 185 | |

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 228百万円 (17.3%) 29年2月期第1四半期 194百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期第1四半期 | 32.65 | |
| 29年2月期第1四半期 | 40.07 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年2月期第1四半期 | 10,429 | 2,835 | 27.2 | 541.11 |
| 29年2月期 | 10,139 | 2,685 | 26.5 | 512.52 |

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 2,835百万円 29年2月期 2,685百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年2月期 | | 0.00 | | 15.00 | 15.00 |
| 30年2月期 | | | | | |
| 30年2月期(予想) | | 0.00 | | 50.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年9月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成30年2月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年2月期(予想)の1株当たり期末配当金は10円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,222 | 2.8 | 305 | 46.3 | 279 | 44.8 | 196 | 50.4 | 37.48 |
| 通期 | 10,200 | 1.9 | 674 | 15.7 | 622 | 13.7 | 457 | 14.2 | 436.14 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年2月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年2月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は87円23銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年2月期1Q | 5,248,444 株 | 29年2月期 | 5,248,444 株 |
| 期末自己株式数 | 30年2月期1Q | 8,463 株 | 29年2月期 | 8,463 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年2月期1Q | 5,239,981 株 | 29年2月期1Q | 4,621,112 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年5月26日開催の第60回定時株主総会において、平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する議案が承認されております。併せて同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年2月期の配当予想、連結業績予想は以下のとおりです。

- (1) 平成30年2月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 10円00銭
- (2) 平成30年2月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 87円23銭

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年5月31日）におけるわが国経済は、幅広い業種で企業収益の改善や為替が安定して推移したことを背景に景況感の回復が広がり、さらに個人消費は引き続き底堅く推移する等、景気的好循環が見え始め緩やかな回復基調で推移しております。一方で、全業種に跨り人手不足が深刻化しており、その影響が物流、外食、小売等で出始めております。

国内化粧品市場においても同様に回復基調が継続していることに加え、訪日外国人によるインバウンド需要や輸出等のアウトバウンド需要も取り込み堅調に推移いたしました。海外化粧品市場では、欧米における先行き不透明感が和らぎ欧州・米州市場が緩やかな伸長を見せたほか、アジア、中国でも引き続き堅調に推移いたしました。

このような市場環境のもと、当社グループ（当社および連結子会社、以下同じ）では、今年度よりスタートした「中期事業戦略ビジョン」に基づき、国内におけるさらなる生産能力の増強、収益性の向上ならびに事業のグローバル化の加速化を目指し引き続きイノベティブな処方開発による企画提案型営業を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高及び利益の数値は何れもインバウンド関連需要のピークであった前年同期水準には及ばなかったものの、全体では当初見通しを上回る進捗で推移しております。

以上の結果、売上高につきましては、国内は当初見通しを若干下回る水準で推移したものの、フランス子会社は当初見通しを大幅に上回る水準で推移した結果、前年同期比0.9%減の2,621百万円となりました。営業利益は、前年同期比19.9%減の220百万円、経常利益は前年同期比8.9%減の218百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比7.6%減の171百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

国内の化粧品受託製造市場は、国内化粧品メーカーによるアウトソーシングの拡大、異業種企業による化粧品市場参入などに加え、アジア・アセアン地域で人気の高い“日本製化粧品”に対するインバウンド・アウトバウンド需要も加わり、堅調に推移しております。

このような事業環境のもと、当社では国内顧客からのインバウンド需要や新製品関連需要が引き続き堅調に推移し受注面においては前年度から引き続き高い水準を維持しているものの、折からの人手不足を補うための外注委託の増加やつくば工場第2期拡張工事に関する経費負担の増加等が影響し、前期と比較して減収・減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社単体の売上高は前年同期比3.7%減の2,184百万円、営業利益は前年同期比31.5%減の171百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.（以下、テプニエ社という）の所在する欧州経済は、政治面の先行き不透明感が和らいだことや雇用情勢改善も相まって、全体的な景気回復基調は持続しております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、主力の医薬品が伸びたことにより、ユーロ建てベースでは大幅な増収、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における仏国の売上高は前年同期比8.9%増の444百万円、営業利益は前年同期比129.7%増の49百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、290百万円増加し、10,429百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が263百万円減少し、固定資産が553百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、たな卸資産が84百万円増加し、現金及び預金が308百万円、受取手形及び売掛金が54百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建物及び構築物が839百万円、機械装置及び運搬具が51百万円、投資その他の資産のうち、投資有価証券が123百万円、その他が151百万円増加し、有形固定資産のその他が610百万円減少したことによるものであります。なお、平成29年4月28日付「つくば工場第2期拡張工事の竣工に関するお知らせ」にて公表しておりますとおり、つくば工場第2期拡張工事は、平成29年4月に竣工し、平成29年5月より稼動を開始しております。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、140百万円増加し、7,593百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が338百万円増加し、固定負債が198百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金が274百万円、賞与引当金が116百万円、その他が147百万円増加し、短期借入金が43百万円、未払法人税等が108百万円、役員賞与引当金が47百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が203百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、149百万円増加し、2,835百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円等により92百万円、その他の包括利益累計額合計が57百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,319,746 | 1,011,130 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,789,683 | 1,735,197 |
| たな卸資産 | 1,389,016 | 1,473,791 |
| その他 | 228,791 | 242,628 |
| 貸倒引当金 | △1,819 | △1,300 |
| 流動資産合計 | 4,725,418 | 4,461,448 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,930,485 | 2,770,306 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 545,315 | 597,136 |
| 土地 | 1,301,034 | 1,300,758 |
| その他(純額) | 764,547 | 154,138 |
| 有形固定資産合計 | 4,541,381 | 4,822,340 |
| 無形固定資産 | 232,114 | 229,305 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 427,581 | 550,724 |
| その他 | 272,502 | 423,776 |
| 貸倒引当金 | △59,799 | △58,391 |
| 投資その他の資産合計 | 640,284 | 916,109 |
| 固定資産合計 | 5,413,780 | 5,967,756 |
| 資産合計 | 10,139,199 | 10,429,204 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,170,349 | 1,444,454 |
| 短期借入金 | 1,571,688 | 1,528,207 |
| 未払法人税等 | 149,106 | 40,318 |
| 賞与引当金 | 56,004 | 172,402 |
| 役員賞与引当金 | 47,500 | — |
| その他 | 1,082,235 | 1,230,000 |
| 流動負債合計 | 4,076,884 | 4,415,383 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,841,231 | 2,637,385 |
| 役員退職慰労引当金 | 150,090 | 147,630 |
| 退職給付に係る負債 | 101,057 | 94,954 |
| その他 | 284,319 | 298,444 |
| 固定負債合計 | 3,376,697 | 3,178,414 |
| 負債合計 | 7,453,582 | 7,593,797 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 714,104 | 714,104 |
| 資本剰余金 | 943,209 | 943,209 |
| 利益剰余金 | 893,651 | 986,127 |
| 自己株式 | △3,481 | △3,481 |
| 株主資本合計 | 2,547,483 | 2,639,959 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 197,096 | 282,354 |
| 為替換算調整勘定 | △58,963 | △86,907 |
| その他の包括利益累計額合計 | 138,132 | 195,447 |
| 純資産合計 | 2,685,616 | 2,835,407 |
| 負債純資産合計 | 10,139,199 | 10,429,204 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,645,671 | 2,621,358 |
| 売上原価 | 2,073,149 | 2,089,116 |
| 売上総利益 | 572,522 | 532,241 |
| 販売費及び一般管理費 | 297,561 | 311,966 |
| 営業利益 | 274,960 | 220,275 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 182 | 145 |
| 受取配当金 | 1,026 | 1,164 |
| 為替差益 | — | 10,413 |
| その他 | 2,165 | 3,099 |
| 営業外収益合計 | 3,374 | 14,822 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,994 | 16,420 |
| 株式交付費 | 19,278 | — |
| その他 | 1,027 | 77 |
| 営業外費用合計 | 38,300 | 16,497 |
| 経常利益 | 240,034 | 218,599 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 823 | — |
| 特別利益合計 | 823 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 119 | 1,157 |
| 特別損失合計 | 119 | 1,157 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 240,738 | 217,442 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 63,373 | 19,789 |
| 法人税等還付税額 | △5,337 | △4,825 |
| 法人税等調整額 | △2,461 | 31,403 |
| 法人税等合計 | 55,574 | 46,366 |
| 四半期純利益 | 185,163 | 171,075 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 185,163 | 171,075 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 185,163 | 171,075 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 34,592 | 85,258 |
| 繰延ヘッジ損益 | 62 | — |
| 為替換算調整勘定 | △25,085 | △27,943 |
| その他の包括利益合計 | 9,569 | 57,315 |
| 四半期包括利益 | 194,732 | 228,390 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 194,732 | 228,390 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 仏国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,237,562 | 408,109 | 2,645,671 | — | 2,645,671 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 31,579 | 437 | 32,017 | △32,017 | — |
| 計 | 2,269,142 | 408,546 | 2,677,689 | △32,017 | 2,645,671 |
| セグメント利益 | 250,261 | 21,518 | 271,779 | 3,181 | 274,960 |

(注) 1. セグメント利益の調整額3,181千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 仏国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,176,580 | 444,777 | 2,621,358 | — | 2,621,358 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 8,158 | 102 | 8,260 | △8,260 | — |
| 計 | 2,184,738 | 444,880 | 2,629,618 | △8,260 | 2,621,358 |
| セグメント利益 | 171,502 | 49,435 | 220,937 | △662 | 220,275 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△662千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。